

業務内容

● 企画編集・グラフィックデザイン

- ・まちづくり計画等の報告書、概要版に関わる編集、デザイン
- ・企業活動における会社案内等、PR媒体の企画、編集、デザイン
- ・研究報告、記念誌、著作及び作品集等の企画、編集、デザイン
- ・博物館等展示・ディスプレイ・演出に関わる企画、デザイン

● まち・地域・環境デザイン

- ・都市及び地域等、まちづくりに関わる調査、計画、立案支援
- ・住宅施策、商業、観光、産業振興等に関わる調査、計画
- ・芸術文化、社会教育、地域活動に関わる調査、計画、活動支援
- ・景観形成、公共サイン、文学碑等に関わる調査、計画、設計

● 販売促進計画・商品デザイン

- ・商品づくりや販売・事業計画に関わる調査、企画、計画支援
- ・商品パッケージ、販促ツール等に関わる調査、計画、デザイン
- ・商談会及び店舗等販売空間に関わる調査、企画、計画、設計
- ・セミナー運営、事業所訪問等による個別課題に関わる支援

● プレゼンテーション用コンテンツデザイン

- ・土木及び建築系分野の計画・設計に関わるパース作成
- ・公的事業説明等の模式図及びシーンショットやイラストの作成

上記に関わるコンサルト業務及び製作・印刷等の関連業務

合資会社高橋デザイン事務所

020-0025 岩手県盛岡市大沢川原2丁目6-22-1001

PHONE 019-623-6050 FAX 019-656-6010

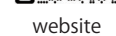
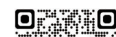
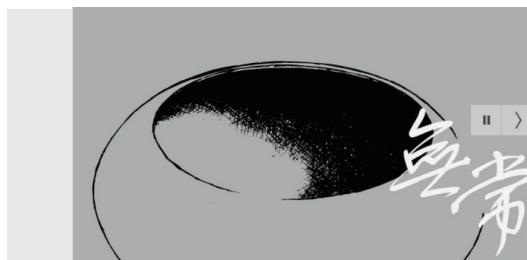
E-mail:takahashi@h3.dion.ne.jp

https://www.takahashid.com

高橋幸男 (たかはし ゆきお)

- 1950年岩手県北上市生まれ、岩手大学特設美術科卒業、同教育専攻科修了、1975年4月高橋デザイン事務所創業、2003年1月法人化により合資会社高橋デザイン事務所代表社員。地方創生いわて事業協同組合理事。

KURASHI DESIGN

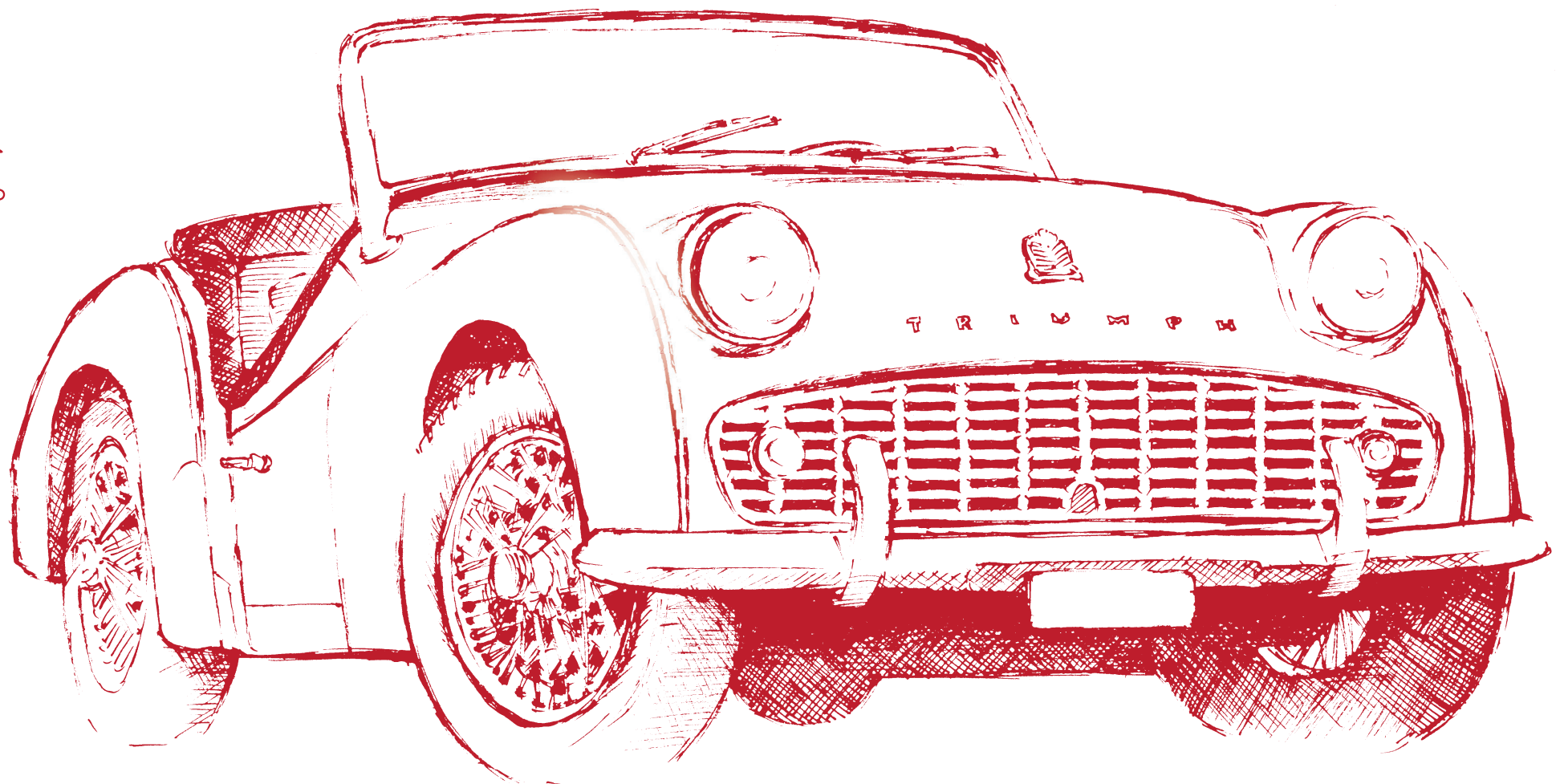


最新の業務実績は、ホームページをご覧ください。

YouTube

明日を切り拓く
「イノベーション」をサポートします。

すでに、ゲームは延長戦に突入している。
プレートを踏みしめ、手強いバッターに向かう。昨年より大リーグではピッチクロックが導入され、投球秒数も決して自分の投球スタイルとはいかない。対戦相手は、エンジェルスでも、ワールド制覇を狙うドジャースでもない。自分の「体力」、「気力」、そして何よりも「創造力」とである。
高校野球を諦め美術に進んだ十九歳の夏、あの太田幸司投手の三沢高と松山高の井上明投手との甲子園球史に残る、延長戦となった二人の熱投、十八回で0対0の引き分け。そして再試合が強く記憶に残る。今では延長回数も制限され、選手の負担軽減のメ리트のためなど、タイブレーク制の特別ルールで試合の決着を急ぐ。
我が延長戦、いかに戦えば良いのか。早めの得点をもくろみ、アグレッシブに得点を取りに行くのか。所詮、起死回生のホームランを打てる技量はないので、バント、単打かフォアボールを選び、一つずつ塁を埋め、あわよくば押し出しを狙うスモールベースボールか。方や守備サイドとすれば、内野中心の守りの布陣を固め、まぐれの三振に頼らず打たせて、相手に得点を与えない作戦とするのか。打ち損じや走塁ミスを誘うか。しつこく牽制球をする、少し後ろめたいが隠し球という秘策もある。
いずれ、勝ち負けは自分でつけられない。願わくば、そこそこの熱き観客数に見守られ、応援されながらプレーを続けられる事である。必ずやってくる「ゲームセット」に向け、バッテリーボックスとピッチャーズマウンドを行き来しながら、自分の「創造力」と向かい合う、戦う二刀流が続く。
ご挨拶に代えて(タカハシユキオ「延長戦」より)





●やまに農産-いわて西和賀「西萩粉」物語-編集デザイン(2019)



●大槌の風・干物ものがたり-編集デザイン(2019)



●岩手大学地域防災研究センター紹介パンフレット-編集デザイン(2018)



●仙台市新井西士地区画整理事業完成記念誌-編集デザイン(2019)



左上●森口多里・その足跡を辿る
記念展冊子-編集デザイン(2009)



右上●詩歌のまちへ
編集デザイン(2008)



●正月がやってくる-編集(2020)



●記憶のまちへ-編集デザイン(2007)



●北上市立博物館特別展図録-編集デザイン(2021)

Editing

「記憶を記録へ」という視点を持ちながら、活字文化の持つ意義とビジュアルな側面の有用性をも大切にしたいと考えています。なかなか進まぬ己に課した「黒澤尻文庫」も牛歩ながら、継続こそ大事。

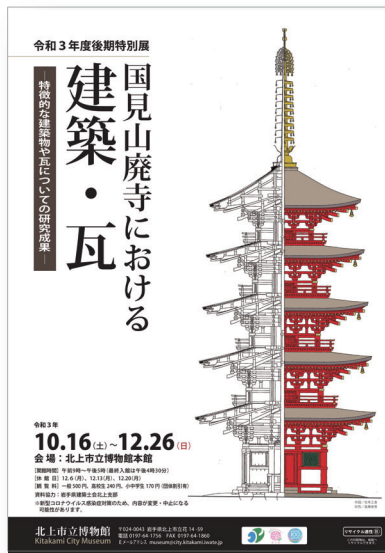


●YouTube 黒澤尻文庫にてシリーズ公開中



●写真撮影/高橋幸男(1971年頃)





●北上市立博物館特別展ポスター・デザイン (2021)



●北上市立博物館特別展ポスター・デザイン (2022)



●もくもく絵本研究所・知育玩具リーフレット・デザイン (2015)



●柴組・パンフレット・デザイン (2021,2022)



●新清館リーフレット・デザイン (2020)

Graphic

あまりにも多すぎる日々の情報。あえてその洪水の中に杭を差す。そして、直に「手に取って」頂ける、なぜか後ろ髪ひかれる情報媒体を。



●北上市立博物館リーフレットデザイン (2021)

●盛岡市UUターナーガイドデザイン (2016)

●羽後町・西馬音内まち歩きマップ・デザイン (2013)



●遠野交通・コース案内リーフレット・デザイン (2019)

●丸中リーフレット・デザイン (2024)

●西馬音内そばマップ・デザイン (2020)

●マルサ嵯峨商店リーフレット・デザイン (2023)



●写真撮影/高橋幸男 (1971年頃)



Planning

みちの民俗村

展勝地・国見山地域 場所性
展勝地・国見山のペン
展開・発展に重要な元
場の持つ力

昔ながらの暮らし再現 物語性・祝祭
民俗資料(民俗物機能)
民家・暮らしの再現
(年中行事・手仕事・郷土料理)
ハレの行事
(村まつり、民俗芸能等)

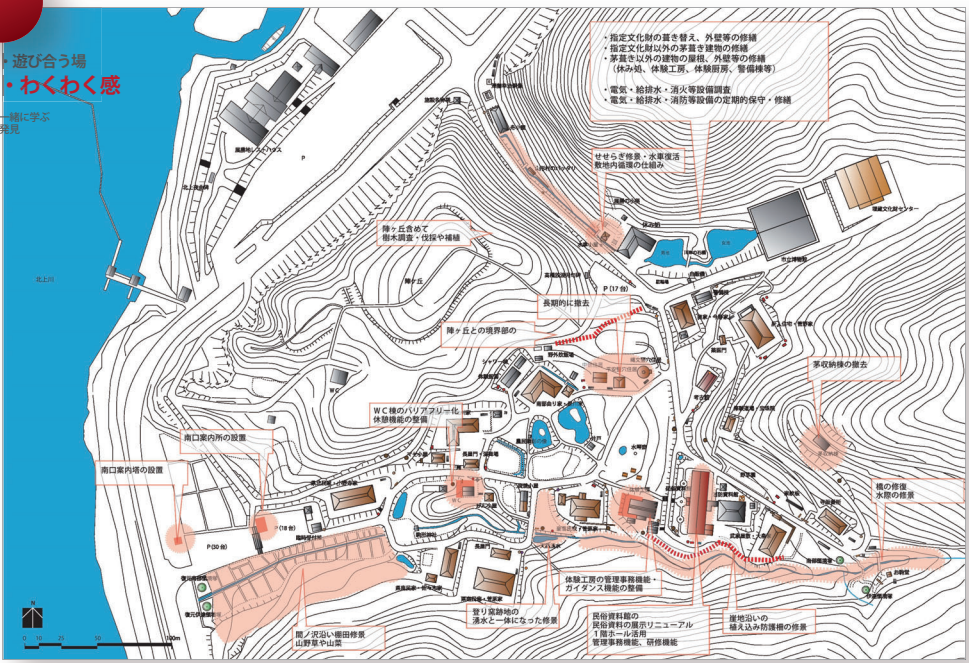
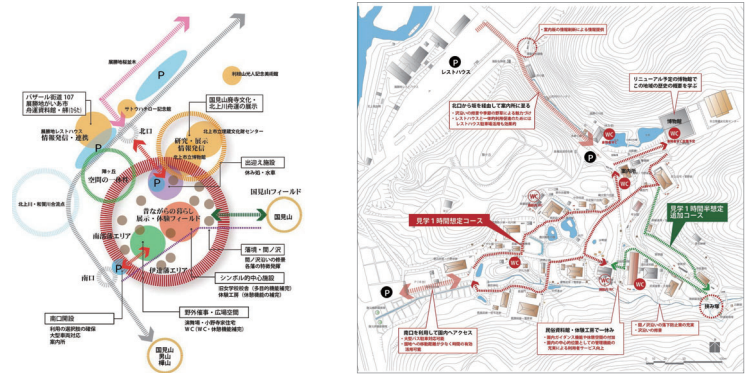
豊かで穏やかな自然空間 開放性・健康
園内植物、動物観察
散策やウォーキング
ヒューマンスケールの園地規模

支え合うひととの共同体 地元感・郷(さと)
地産地消
家族のような扱い
出来る事はみんなで作る
茅葺き修理、田舎仕事

心・精神を癒やす 安堵感・リフレッシュ
ほっとする空間
ゆっくりした時間経過
風景をみるさと憩

いのち・暮らしの有り様 リアル感・いのち
昔の暮らしの体感
暮らしの知恵のすかさ、当たり前感
生きること、いのちの大切さ

共に学び、遊び合う場 非日常・わくわく感
みんなが
思いもよき一瞬に学び
いつも新たな発見

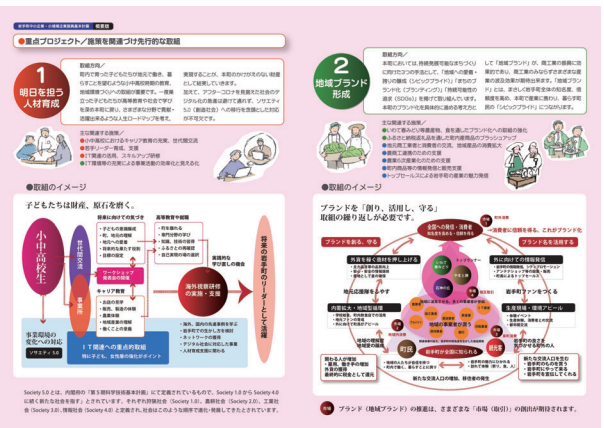


●北上市みちの民俗村整備基本計画・策定(2016)

さまざまな計画の場面においては、関わる多くの方々がイメージを共有出来るよう「見える化」を重視したプレゼンテーションが大切です。多くのプランナーとのコラボも楽しみの一つ。



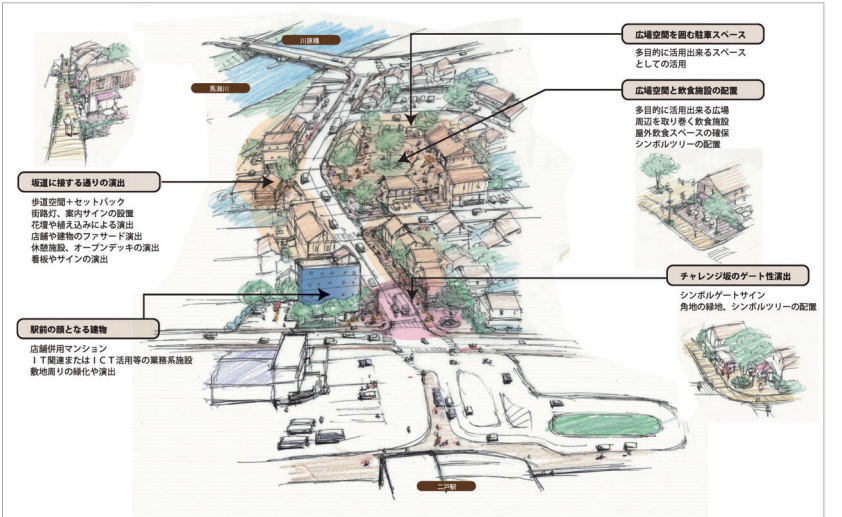
●岩手町中小企業・小規模企業振興基本計画・策定(2020)



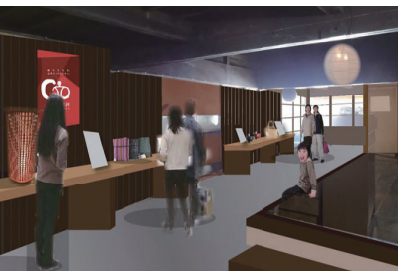
●山形市山寺景観重点地区ガイドライン計画・策定支援(2021)



●西和賀町観光サインガイドライン計画・策定(2017)



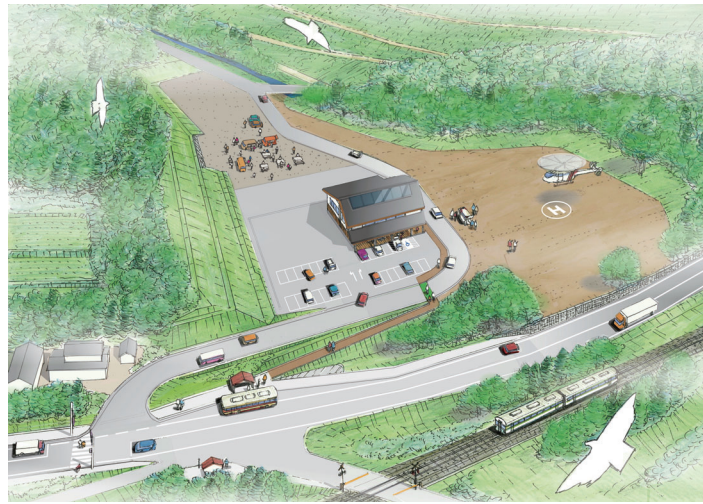
●二戸駅前地区 まちづくり検討イメージ案・作成支援(2022)



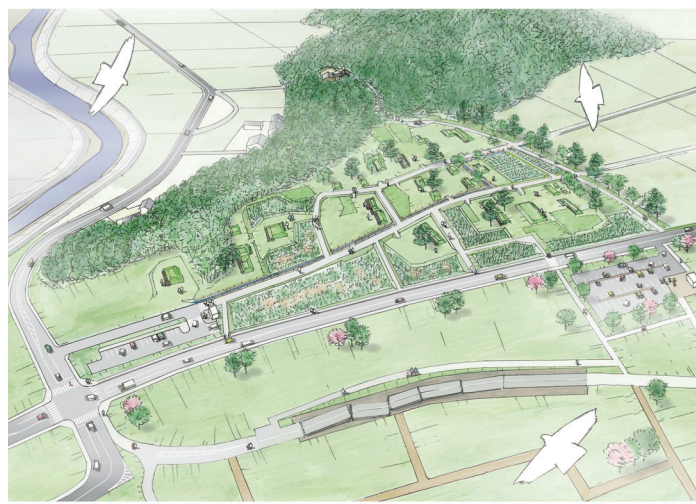
●小倉家住宅・古民家の魅力を活かした工芸品ギャラリー整備のための基盤づくり計画支援(2018)



●写真撮影/高橋幸男(1980年代)



●門馬地域公共施設配置基本構想整備イメージ図(2023)



●福岡・復興祈念公園イメージ図(2023)



●相馬・海岸防災林整備イメージ図(2019)



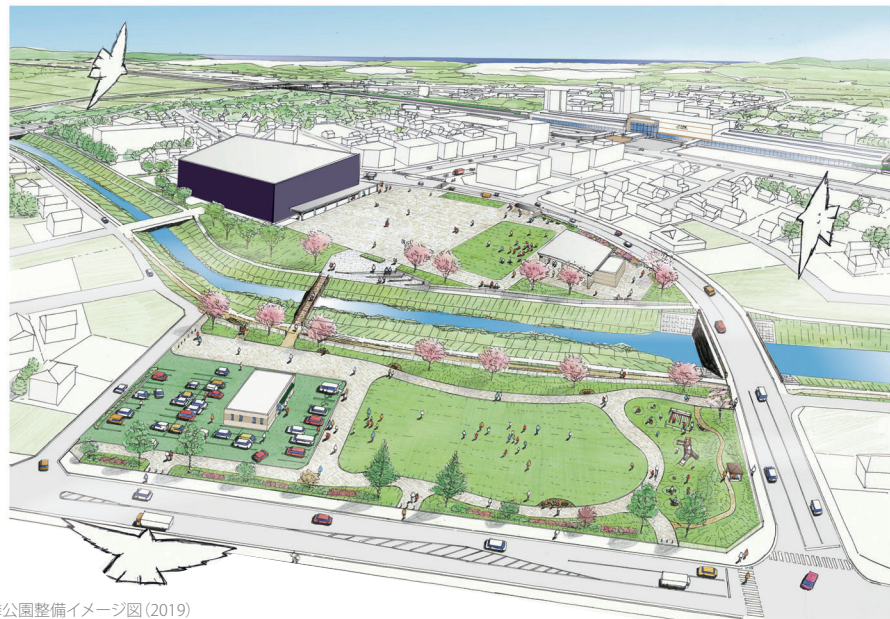
●広島・廿日市平良丘陵整備イメージ図(2023)



●大阪・京阪沿線における駅周辺まちづくり整備イメージ図(2023)



●利府・新太子堂整備提案イメージ図(2020)



●八戸駅西地区近隣公園整備イメージ図(2019)



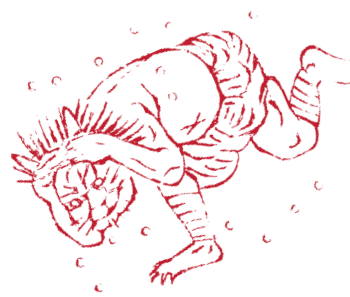
●広島・廿日市上平良二重原地区整備イメージ図(2022)

Drawing

さまざまな場面での「見える化」による意志疎通、コミュニケーションのための大切なツールとして、プランナーと共に新たな希望を描き続けます。親しみが持てるヒューマナなタッチを念頭に。



Display & Sign



岩手のサインのあり方を念頭に、サインの提案、実施デザインをすすめるながら、地域風土にふさわしい景観の演出に心がけています。幅広い分野での展示支援も「記憶を記録へ」の一環。



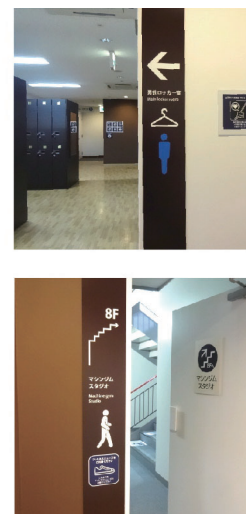
●岩手大学ボランハウスサイン・デザイン・製作 (2009)



●国見山廃寺跡サイン・デザイン (2010)



●コナミスポーツクラブ北上施設改修・全体カラーコーディネート・サイン等デザイン・製作 (2019)



●きたかみまちなか博物館サインデザイン (2010)



●北海道庁案内塔・デザイン (2008)



●北上市立博物館・特別展「北上川舟運と海一つなく、広がる、時代を超えて」実物大船断面模型展示・製作 (2019)



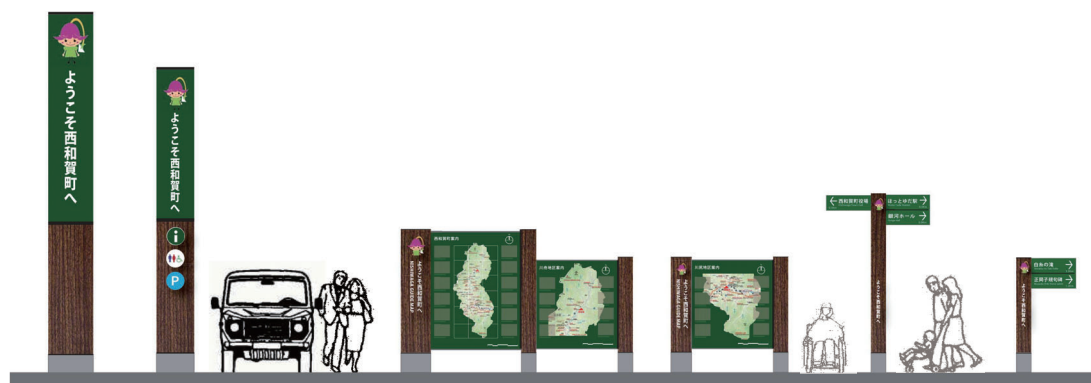
●さくら野百貨店北上店・本町スクエア・デザイン (2020)



●北上市立博物館「開館50周年記念特別展」展示デザイン・製作 (2023)



●北上市立鬼の館・タッチパネルモニター機器導入支援及びコンテンツデザイン及び制作 (2022)



●西和賀町観光サインガイドライン・計画 (2017)



●禅僧十三体・習作 (2005) 典座(てんぞ)



●北上市立博物館「国見山廃寺における建築・瓦展」展示デザイン・製作 (2021)



●北上市民会館・写真撮影／高橋幸男 (1990年代)



iwate-nishiwaga
やまに農産株式会社

●やまに農産 / C I 計画 (2015)



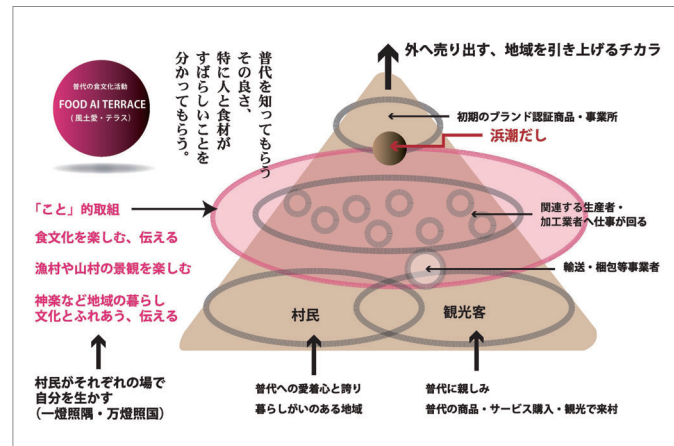
●やまに農産 / 会社案内リーフレット・デザイン (2020)

当初はやまに@を提案し、さまざまな場面での展開を行いました。より深化させるために改めてロゴに意味を与え、発信するためのC Iの再構築です。
「Y」は、やまに、湯ったり、雪っこ、山里、豊かな、夢を描く「Y」です。西和賀からのという意味のOを加えたロゴマークです。合わせて、欧文と会社名の文字セットで会社のロゴとしています。商品シールでの取り込みを始め、会社案内、商品リーフレット、ホームページで活用しています。



●やまに農産 / ミックスジュース・商品デザイン案 (2016)

精肉店における数々の商品化に留まらず、料理人としての経験を、普代の食文化の中で生かす取り組みを、上神田さんは始めています。郷土愛を育てる「一燈照隅、万燈照国」を自らに課しての取り組みです。



●上神田精肉店 / 事業展開に向けてのC I 計画 (2020)



FOOD AI
TERRACE

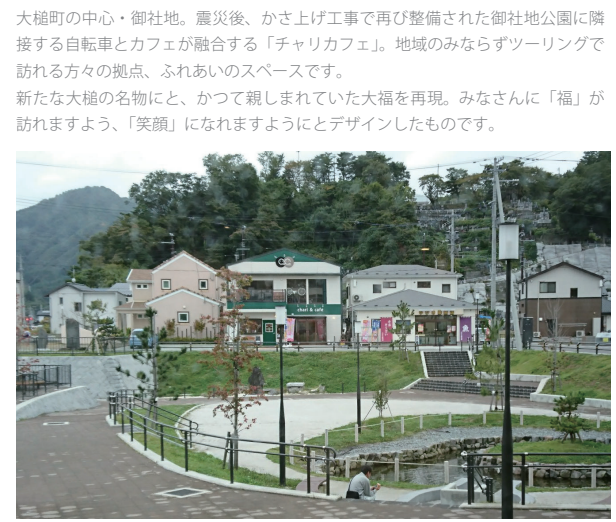
●上神田精肉店 / 事業展開に向けてのC I 計画 (2020)

Branding

信頼・信用される「顔」。それまでは当然ながら努力とその蓄積の年月が必要です。そして、事業継続のためには、事業コンセプトの再構築と印象的なデザインの創出、発信をおすすめします。自分らしい「顔」を。



●内金崎自転車店 / 商品ロゴデザイン (2017)



●内金崎自転車店 / チャリカフェ C I 計画・店舗デザイン (2017)



●チャリカフェ / スイーツ販促ツール・デザイン (2023)



●ごとう商店 / C I 計画 (2018)



●ごとう商店 / 日除けのれん、米麴の話 / パンフレット、営業用ツールのデザイン提案 (2018)



普代を牽引する明日を担う4人の事業者が連携。ここで活路を拓くため、取り組む「普代アビーロード商店街」。ビートルズに因んで、ABBEYに新たな想い「遊ぶ、ぶらぶら、笑顔、行き来」を込める。日本一小さな商店街を貫く国道45号を最大限に生かそうとする、終わりのない物語への挑戦の支援です。



asobu burabura egao yukiki
遊ぶ ぶらぶら 笑顔 行き来



●普代アビーロード商店街 / C I 計画 (2023)



●写真撮影 / 高橋幸男 (1990年代)





●海産物のくまもと／塩蔵わかめ、昆布パッケージデザイン(2020)



●於本薪炭／ベビーチャコール・商品デザイン(2021)



●吉澤菓子店／ハーフかすてら・パッケージデザイン提案(2023)



●青三／一連の既存商品のリメイク・パッケージデザイン(2014)



●潮風堂／ギフト商品・商品及び販促ツールデザイン(2014)



●遠野酪農舎／ジェラート・パッケージデザイン(2014)



●西田商店／だんご掛け紙び販促ツールデザイン(2024)

Marketing

生産者や事業者のみなさんと一緒に、初期からの商品づくりや事業計画、特に販促計画・パッケージデザインの分野において、想いがお客様にしっかり届くようなデザイン支援を。



●伊藤牧場／漢方牛大和煮・商品デザイン(2019)



●田屋商事／燻製サーモン 販促ツールデザイン(2018)



●新山／菜種油パッケージ・デザイン(2023)



●岩手ガーリック／秘伝豆・パッケージデザイン(2023)



●松葉商店／オリジナル醤油・ラベルデザイン(2013)



●写真撮影／高橋幸男(2000年代)



北上時代の事務所